

# Jタイム（リサイクルペンケース）プロジェクトの紹介

ナイロビ日本人学校 川島 彰允

## 1. 交流先(Karai)と交流パートナー(Sarahさん)について

日本人学校から車で西へ30分ほどのKikuyu地域にあるKaraiという場所があります。  
この地で社会活動家として5年程関わり続けているサラ・ミュラーさんというドイツ人女性がいます。



サラさんとの出会いはケニア行きの機内。座席を間違えたことで場所を替わり、謝罪と簡単な自己紹介をしながら「なぜケニアに行くの?」とはじめた会話がきっかけでした。ケニアでの活動を情熱的に語る姿に感銘を受けたことに加え、機内持ち込みの軽くて丈夫そうなスタイリッシュなバッグ、その中から取り出された財布やペンケースをケニアの若者たちと制作していることを知り、ケニアに到着する頃には活動先への訪問の日時が決まり、それ以来、子どもたちにつなげる機会を探っていました。



## 2. Jタイム（総合的な学習の時間）について

それぞれの学校が特色ある教育実践をできる「総合的な学習の時間」をナイロビ日本人学校では「Jタイム」と名づけています。Japanese School（日本人学校）、Jifunza（研究）、Jambo（挨拶＝協力）と全てをつなげる（Joint）の頭文字「J」を取り、①課題解決②キャリア学習③交流の3つの柱を軸として、子どもたちの主体的な学びにつなげることをめざしています。

新型コロナウイルスの影響で一番大切にしていた「交流」が制限される逆境の中だからこそ、今しかできない挑戦や学びの機会を創り出せないかと考え、サラさんの活動とのコラボレーションのアイデアが生まれました。時を同じくして改定となった新学習指導要領、また、新しくなった教科書で度々目にする「SDGs:Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の教材としてもピッタリで、子どもたちのアクション（学び、考え、まとめた内容）を家庭、日本人コミュニティ、そして海を越えた日本や世界へ発信することで、～ちょこっと自分と世界を変えることができるカタチ～テーマに中学部が立ち上げたプロジェクトを応援しています。

### 3. プロジェクトについて

## 中学部 『B1G SMILE PROJECT』

**BUY 1 GIVE 1**

あなたが【リサイクルペンケース】を1つ買うと、  
サラさんが働くKaraiの小学校の子どもたちに  
【文房具or布マスク】を1つ届けることができる取り組みです。

☆ 中学部の生徒が制作者や製品のプロモーションをしながら、キャリア学習として販売・在庫・予算管理などを行います。

☆ 日本の学校などにも自作のワークシートを送付して伝えるとともに、ペンケース購入のactionが現地の子どもたちへの(※)布マスクや文房具の提供につながる左記の【BUY1GIVE1キャンペーン】を数量・期間限定で行います。

※ 布マスクは奈良県の一般社団法人 [blue earth green trees]様から寄贈いただきました。

☆ 製品の受け渡しは2学期から開始します。

# BIG SMILE ワークシート



アフリカのケニアでサラ・ミュラー  
(Sarah Mueller)さんというドイツ人

の女性が行っている環境に優しい

取り組みがあります。



サラさん達がつくっているこのペンケースは、ただのペンケースではありません。このペンケースはなんと！セメントを入れていた袋からできているのです！工事などで使われるセメント、ふつうなら袋はそのまま捨てられてしまいます。ですが、サラさん達はそんなゴミになるはずだった袋を集めて、ペンケースやバッグ、リュックサックなどに大変身させています。

この取り組みはゴミを減らすので、地球に優しいです。そして、ケニアの若い女性たちの仕事になっています。商品売ったお金はケニアの子ども達も学校に通うためのお金にもなります。

いいことばかりですね！

## ～ 問題 ～

Q1. サラさん達は何を使ってペンケースなどの商品をつくっていますか。

--	--	--	--

の袋

Q.2 このような取り組みは3Rの中のどれに当てはまりますか。○でかこみましょう。

リデュース      ・      リユース      ・      リサイクル

～ 発展問題 ～ このプリントの裏に書きましょう。



<1> 3Rについて調べてまとめてみましょう。

<2> 自分が捨てているもので“大変身”させられそうなものはありますか。

名前 ( )